

部活動の地域展開で何が変わる？

地域展開した場合、下表のとおり、②運営主体、③加入者、④指導者などが大きく変わる予定となっております。例えば、加入者は、現在その学校に在籍する生徒のみですが、いろいろな中学校から参加できるようになります。また、指導者も学校の教員から地域の指導者となります。佐世保市では、現在、推進方針を定めるための検討委員会を行っておりますので、詳しい仕組みなどが決定次第、案内をさせていただく予定となっております。

	学校部活動	地域クラブ活動
①位置づけ	学校教育活動 (学校管理下)	学校教育活動ではない (学校管理外)
②運営主体	学校	多様な運営主体
③加入者	各中学校在籍生徒	市内中学生
④指導者	当該校教職員 部活動指導員	地域クラブ認定指導者 (兼職兼業の教職員含む)
⑤活動場所 施設・備品	各学校施設・備品を使用	各学校施設・社会教育施設 ・公共施設 等
⑥費用	各部活動費・PTA会費 市補助金 等	会費(保護者負担) 等
⑦保険・補償	災害共済給付	各種保険

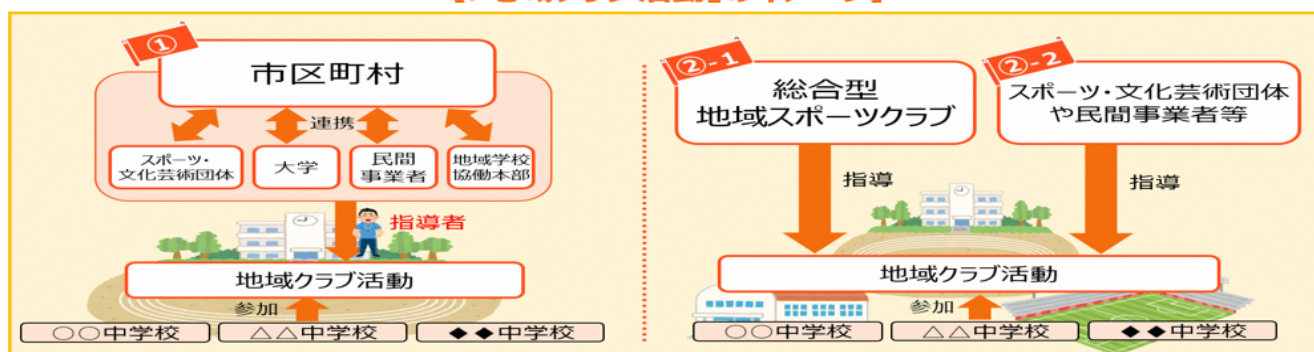
地域展開の国のイメージは？

部活動改革の全体像(イメージ図)

少子化が進む中でも、**将来にわたって生徒がスポーツ・文化芸術活動に継続的に親しむ機会を確保・充実**するため、学校部活動の『**地域連携**』及び『**地域展開**』を推進



【「地域クラブ活動」のイメージ】



離島部の地域展開はどうするの？

離島部の地域展開は、本市の大きな課題と考えており、令和６年と令和７年にはスポーツ庁の委託事業を活用し、専門の指導者を派遣する「離島部指導者派遣事業」を実施しました。令和７年度の宇久中学校の取組事例を紹介します。（黒島小中学校は希望がなかったため実施していません。）

<取組事項>

宇久中学校の運動部にはバドミントン部と陸上部があり、専門の指導者が不在のため、競技経験がある大学生及び専門学校生を派遣した。

（実績） 陸上部 ６日 １５時間 バドミントン部 ８日 ２０時間

<成果>

- ・技術の向上を希望する生徒に対して、丁寧な個別指導を実施できた。
- ・指導を受けた生徒の満足度は１００％であり、継続して指導を望む声が多い。
- ・派遣日以外での本土の大会に学生が出向くなどの交流が広がった。
- ・派遣した学生指導者の感想も、「とても楽しく活動ができた」「継続して関わりたい」などの肯定的な意見ばかりであった。

<課題>

- ・指導者の移動手段はフェリーと高速船であり、天候に左右される。
- ・日帰りの指導が困難であるため、指導者の確保が非常に厳しい。



（R7 陸上部への指導の様子）

<改善策>

- ・指導者の確保が困難な状況があることを踏まえ、令和８年度は、離島部の中学生が本土等の学校と合同練習会等を実施できるように支援を行っている。技術力の向上はもちろん、コミュニケーション力の向上や人間関係の広がりにもつながると考えている。

<派遣校の校長の声>

- ・専門的な知識・技能を持つ指導者から直接教わることで、生徒のスキルアップはもちろん、競技へのモチベーションが大きく向上した。
- ・生徒と年齢の近い大学生指導者は、質問がしやすい「兄・姉」のような存在であり、精神面でも大きな刺激となった。
- ・同一の指導者が継続して来島することで、島の特性や生徒一人ひとりの個性を把握した上での指導が可能となった。
- ・金、土の２日間にわたり指導を代行・補助してもらうことで、顧問の業務負担が軽減された。これは教職員の働き方改革を推進する上でも非常に有効なモデルとなった。
- ・熱心な指導の様子は練習を見学した保護者からも高く評価され、地域全体の期待感につながった。

指導者の確保はどうするの？

上記の「離島部指導者派遣事業」も含めて、長崎国際大学との連携を図っています。昨年度は、大学生を講師とした合同練習会を２競技で実施しました。また、市内９校に２７名の大学生を派遣し、部活動の指導・支援を行いました。本市の地域展開において、大学生は重要な存在と位置付けております。

